

フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使とのオンライン懇談会を 開催

2022年3月11日

講師：クレメンス・フォン・ゲッツェ 駐日ドイツ連邦共和国大使

経済広報センターは3月11日、クレメンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使を招き、「激動する国際情勢における日独協力の可能性」をテーマにオンライン懇談会を開催した。会員企業などから約80名が参加した。

フォン・ゲッツェ大使は冒頭、G7議長国の大使として、ウクライナ問題をめぐりG7が足並みをそろえてロシアへの経済制裁を表明したことを評価した。日独関係については、輸出志向やエネルギー対外依存度が高いといった共通点が多いことから、両国はデジタルや環境などの分野で高い技術力により競い合っているものの、同時に、共通の課題を克服するために協力し、関係を強化できると述べた。

質疑応答で、エネルギー政策の転換について尋ねられ、フォン・ゲッツェ大使は、10年かけて減らしてきた原子力発電への依存を高めることは技術的にも難しく、ガスパイプラインに代わるLNG輸入基地の増強やさらなる省エネ努力が必要と説明。そのうえで、再生可能エネルギーの貯蔵において水素を利用している日本の取り組みに関心を寄せた。

また、昨年まで駐中国大使を務めていたことから日中との比較を求められ、一党独裁が強みともみられた中国で、香港やウイグルをめぐり不公正・不平等という問題が表面化していると指摘。経済面でもさらなる市場開放が必要であり、日本と同様に中国とEUの間でもEPAを結び、公正かつ自由な競争が行われることに期待したいと述べた。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。